

平成27年度 温室効果ガス排出量の公表について

1. 市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量

【市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量】

16,494 t-CO₂

(平成27年度実績)

【内訳】

①温室効果ガスの種類別排出量

温室効果ガスの種類	単位	基準年度 (平成21年度)	平成27年度
二酸化炭素(CO ₂)	kg-CO ₂ 換算	13,164,202	16,114,122
メタン(CH ₄)	kg-CO ₂ 換算	57,526	24,651
一酸化二窒素(N ₂ O)	kg-CO ₂ 換算	353,346	352,807
フロン類(HFC)	kg-CO ₂ 換算	3,432	2,516
温室効果ガスの合計	kg-CO ₂ 換算	13,578,506	16,494,095

②部門別の温室効果ガス排出量

		平成21年度 合計(kg-CO ₂)	平成27年度 合計(kg-CO ₂)
1	市長部局(環境部、上下水道部除く)	1,222,296	937,326
2	教育委員会部局	993,378	825,128
3	環境部	10,323,298	13,916,804
4	上下水道部	1,039,534	815,032
	合計排出量(kg-CO ₂)	13,578,506	16,494,290
	合計排出量(t-CO ₂)	13,579	16,494

※端数処理により、合計が一致しないことがあります。

2. 削減目標の達成度

【 削減目標 】

温室効果ガスの排出量を平成27年度までに、

3%削減する。(平成21年度比)

	基準年度	実施期間					
	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
t-CO2	6,846	6,963	6,569	6,039	6,783	8,437	
平成21年度比増減量		+117	-277	-807	-63	+1,591	
		1.7%増加	4.0%削減	11.8%削減	0.9%削減	23.2%増加	
							目標
							6,641
							-205
							3%削減

※計画に基づき、一般廃棄物の焼却等に伴う温室効果ガス排出量(平成21年度:6,733t-CO2、平成23年度:7,728t-CO2、平成24年度:7,878t-CO2、平成25年度:8,350t-CO2、平成26年度:6,576t-CO2、平成27年度:8,057t-CO2)については、対象外とします。

温室効果ガス（CO₂）排出量増加について

桜井市の平成 27 年度における温室効果ガス（CO₂）排出量が基準年度（平成 21 年度）と比べて大きく増加したのは、桜井市グリーンパークのごみ焼却施設での灯油使用量が増加したことが原因であります。

当ごみ焼却施設では、おもに焼却炉の運転開始時及び運転停止時、また、焼却処理中に炉内の温度が低下した時（市民の皆様のご協力により桜井市では、ごみの分別・リサイクルが進んでいる為、水分の多い生ごみ等の割合が大きくなり熱量が低下し燃えにくくなっている時）に灯油を使用しています。

また、平成 26 年度にダイオキシン類濃度基準値超過問題が発生し、市民の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。

その対策として、ダイオキシン類をより安全に適正処理するための設備を追加しました。

平成 27 年度に追加した設備の効果を検証する必要から、この検証期間中は 1 日のごみ焼却量（定格処理量 75t/日）に対してダイオキシン類抑制の為にごみ焼却量 60t/日程度に制限した焼却処理での検証を行いましたので、炉内の熱量が不足し、灯油使用量が増加しました。

なお、平成 27 年度の灯油使用量の増加分については、焼却炉運営受託業者が費用負担しており、本市が費用負担することはありません。

今後はダイオキシン類濃度の基準を遵守するとともに、温室効果ガス削減に向けて、灯油使用量の抑制の為、ごみ量に見合ったごみ焼却施設の改修を計画していきます。